

開催記録

名 称	第4回 振興計画町民検討会議
開催日時	平成21年11月25日(水) 午後7時～午後9時
開催場所	会津美里町役場高田庁舎 第6会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>(A班) 歌川浩司、片山紀彦、佐藤正人、野中憲子、鈴木幸信 (B班) 荒井弘之、渡辺秀造、大竹久一、笹川壽夫、薄謙一</p> <p>【事務局】</p> <p>木崎総合政策係長、渡部朋宏 総務課 遠藤香</p>
議 題	<p>①将来都市像について</p> <p>②班別検討「政策の組立」</p>
資料の名称	●「将来都市像・政策の組立」
記録方法	<input type="checkbox"/> 会議全文 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 将来都市像について</p> <p>① 『明日(未来)へつなぐ 自立と共生のまち』</p> <p>② 『明日(未来)へつなぐ 自立と支えあいのまち』</p> <p>③ 『青空と笑顔 時がゆっくりながれる里』</p> <p>【質疑・議論】</p> <p>Q 「未来へつなぐ」のは当たり前のことで、あえて言う必要があるか？</p> <p>A 持続可能な社会を踏まえて、これを再認識するためにあえて入れた。町がつながっていない可能性もある。次の世代へ如何につないでいくかは大きな課題ではないか。</p> <p>Q 3つとも言おうとしている意味は同じではないか。イメージを重視するか、より具体的な言葉とするかの違いでは。</p> <p>Q 将来都市像の将来とは、いつを想定したものなのか？</p>	

A（事務局） 計画の期間は5年間（平成27年まで）なので、その間の目指すべき都市像となる。

Q 3つの案のうちどれがいいか、町民にアンケート調査等で聞くこともできるのではないかな？

A（事務局） 手法としては可能だが、まずは将来都市像を決めないとその後の体系づくりが難しい。時間的な問題もあり、町民検討会議の中で整理したい。

Q キャッチコピーとしての文言なのか、より具体的なもの（木の幹となるもの）なのか、どちらで位置づけるべきか。

A（事務局） こうすべきとの決まりはない。事務局としては、この計画全体における土台となるもの（木の幹）として位置づけた方がより分かりやすいと思っている。

Q 3つの案をミックスすることも考えられるか？

A（事務局） それも一つの方法だと考える。

（参考までにどの案がいいか委員の意向を確認）

①案：3人

②案：1人

③案：2人

①～③のミックス案：4人

※①案を基本に、③案を包含した都市像ができないか、改めて事務局で整理することとした。

（2）班別検討「政策の組立」

※政策分野

（A班）

- ① 自然との共生
- ② 産業振興
- ③ 安全安心な暮らし（福祉）
- ④ 地域づくり
- ⑤ 人づくり（教育・文化）
- ⑥ 行政運営

（B班）

- ① 自然と環境
- ② 産業振興
- ③ 安全と安心
- ④ 町づくり（インフラ整備）
- ⑤ 教育文化
- ⑥ コミュニティ
- ⑦ 行財政運営

3. その他

次回の会議日程：平成 21 年 12 月 2 日（水曜日）午後 7 時～9 時 高田庁舎第 6 会議室

4. 閉会